

## 自然とのふれあい活動への参加者誘致圏について —東京都町田市かしの木山自然公園を事例に—

○栗田 和弥 東京農業大学地域環境科学部造園科学科

### 1. はじめに

近年の身近な自然環境への関心の高まりから具体的活動への展開が進み、それらをリードする市民による環境 NPO や活動に関する研究は進みつつある。しかし、利用者（市民）への浸透の過程や変化などはあまり明らかにされていない。それらを解き明かす一端として、自然とのふれあい活動への参加者の誘致圏の現状を把握することを目的とする。なお本論では、市民が参加する自然観察・学習や自然環境保全の活動を自然とのふれあい活動（以下、活動）と規定し、「市民 NPO による緑地の利用・管理の参加者誘致圏について —東京都町田市かしの木山自然公園を事例に—」<sup>2)</sup> の継続的な研究と位置づけて論じる。

### 2. 研究の方法

東京都町田市かしの木山自然公園における 1998(平成 10)年度(1998 年 4 月～99 年 3 月)における 1 年間に行なわれた自然とのふれあい活動のうち参加者名簿(記録)のある資料を基に、活動参加者の住所(町名)を抽出し 6 地域<sup>9)</sup> に分類した上で、参加者の誘致圏の傾向と参加状況を考察する。誘致距離は、公園および各地域・市町村の地理的(平面図上の)重心の距離とした。

### 3. 結果および考察

かしの木山自然公園における活動の内、かしの木山自然公園愛護会会員が参加となる活動を除く、一般参加者の自然とのふれあい活動(表-1) からその名簿を分析し、誘致距離と参加人数との関係が表-2、3、4 にまとめられた。

全参加者数は 784 人で、その内初参加が 174 人(全参加者中 22.2%)であった。もっとも多い出発地(参加者の住所)は、かしの木山自然公園が含まれる南地域(町田市成瀬を中心とした地域)であった。また、1998 年度に 1 度だけ参加した南地域の市民が 47.1%とほぼ半数を占める(必ずしも初めての参加とは限らない)。

つまり、公園に近い地域の参加者がより多いことが判った。

しかし、これは自然とのふれあい活動が行なわれていない一般的な公園・緑地における傾向と似ている。先進的な事例として実践している、東京都や神奈川県内などにおける活動では誘致圏が広いことがしばしばいわれるが、かしの木山自然公園では異なっている理由が以下のように考えられよう。

① 情報源が限られていること：市民には、東京都町田市発行の『町田市報』および「恩田の谷戸ファンクラブ」(活動拠点は町田市に隣接する神奈川県横浜市)発行のニュースレター他、かしの木山自然公園を訪れた時でしか得られないことが考えられる。

② かしの木山自然公園へのアクセス：この公園には駐車場がない。また、鉄道駅から遠いためバスを利用する必要がある。徒歩および自転車が中心となるために参加者が近隣にしばらくのことになる。

③ 活動内容が定常的であること：他の公園や組織による活動とは特に異なった、あるいは必

表-1 かしの木山自然公園における自然とのふれあい活動  
(1998(平成10)年度のうち一般参加者の参加名簿のある活動)

回	日付	活動名	活動実施組織	参加者 (人)	内 初参加	初参加 比(%)	備考
1	4/ 5	探鳥会	愛護会野鳥部会	36	3	8.3	
2	4/12	野草観察会	愛護会樹木・野草部会	48	5	10.4	
3	4/19	記念講演	愛護会	65	2	3.1	1)
4	5/ 3	昆虫観察会	愛護会昆虫部会	27	5	18.5	
5	5/10	探鳥会	愛護会野鳥部会	46	6	13.0	
6	5/17	樹木観察会	愛護会樹木・野草部会	21	2	9.5	
7	6/14	野草観察会	愛護会樹木・野草部会	32	3	9.4	
8	8/30	工作教室	愛護会工作部会	16	0	0.0	2)
9	9/ 5	自然講座	愛護会	31	13	41.9	3)
10	9/20	自然講座	愛護会	43	17	39.5	4)
11	9/27	昆虫観察会	愛護会昆虫部会	11	2	18.2	5)
12	10/ 4	きのこを学ぶ	愛護会	69	27	39.1	
13	10/11	野草観察会	愛護会樹木・野草部会	45	7	15.6	
14	10/25	工作教室	愛護会工作部会	29	19	65.5	6)
15	12/13	工作教室	愛護会工作部会	44	0	0.0	7)
16	1/17	探鳥会	愛護会野鳥部会	46	20	43.5	
17	2/ 7	昆虫観察会	愛護会昆虫部会	25	12	48.0	
18	2/14	探鳥会	愛護会野鳥部会	58	10	17.2	
19	2/28	樹木観察会	愛護会樹木・野草部会	43	14	32.6	
20	3/14	探鳥会	愛護会野鳥部会	49	7	14.3	
合計				784	174		
平均(人/回)				39.2	8.7	22.2	

備考 愛護会、正しくは「かしの木山自然公園愛護会」

- 1) 演題「生きもののくらしと緑地管理」
- 2) 活動内容「野鳥のプローチ作り」
- 3) 活動内容「虫の音をきく」
- 4) 活動内容「自然観察のすすめ」
- 5) 雨天により参加者が少なかった
- 6) 活動内容「竹細工教室」
- 7) 活動内容「しめ飾り作り」、この活動は抽選による参加者数制限あり

ずしも目新しい活動は多くない。しかし、日常生活に近い空間での探鳥会(野鳥観察会)などの活動や、年末のしめ飾り作りなど伝統的な技術を用いつつ生活習慣に近い活動に参加者が集まるといえる。

④ 公園・緑地の多さ：町田市は、公園・緑地が近隣の市町村よりも比較的多くあり、あるいは残されているため、かしの木山自然公園以外での利用が多いものといえる。

以上から、かしの木山自然公園では愛護会会員のみならず参加者自身も地域により密着した市民が多く、活動が展開されているといことができる。地域の住民(参加者)のための、地域(愛護会)が運営する、地域の公園として、良いシステムを形成している公園であるといえよう。

おわりに

今後の展開として、①公園に隣接・周辺の詳細な町名区分での誘致圏分析や、②かしの木山自然公園以外での活動内容などとの比較を行なって考察を行いたい。また、③開園当初(過去10年間の記録)からの参加者の動向を時系列的に探り、考察を深めたい。

表一2 かしの木山自然公園における活動参加者の誘致距離と  
参加人数および一人当たり参加回数（1998(平成10)年度)

参加者住所		距離 (km)	のべ 参加人数 A(人)	比率 A(%)	実 参加人数 B(人)	比率 B(%)	一人当たり 参加回数 A/B(回/人)
町田市内	南地域	1.5	568	72.4	291	67.5	1.95
	町田地域	2.2	80	10.2	50	11.6	1.60
	鶴川地域	3.7	78	9.9	50	11.6	1.56
	山崎地域	4.2	2	0.3	2	0.5	1.00
	忠生地域	7.0	9	1.1	8	1.9	1.13
	堺地域	13.3	9	1.1	8	1.9	1.13
町田市内合計		5.3	746	95.2	409	94.9	1.82
町田市外	相模原市	7.1	3	0.4	3	0.7	1.00
	座間市	8.8	2	0.3	2	0.5	1.00
	大和市	8.8	1	0.1	1	0.2	1.00
	横浜市	13.5	6	0.8	6	1.4	1.00
	狛江市	13.6	1	0.1	1	0.2	1.00
	厚木市	15.5	2	0.3	2	0.5	1.00
	世田谷区	18.1	12	1.5	2	0.5	6.00
町田市外合計		12.2	27	3.4	17	3.9	1.59
不明		—	11	1.4	5	1.2	2.20
合計			784	100.0	431	100.0	1.82

備考 距離は、地理的重心間の距離  
町田市内・市外合計距離は、各距離の平均値

## 謝辞

本研究を進めるにあたり、かしの木山自然公園の須崎郁三郎氏、東京都町田市の岩間貴之氏から貴重な助言をいただきました。また、愛護会の皆様の御協力を賜りました。ここに御礼を申し上げます。

## 文献および註釈

- 1) 荒牧まりさ (1999): 里地・里山の保全活動に関わる市民団体の特性、日本造園学会関東支部大会研究・発表要旨集、17、55-56.
- 2) 岩間貴之・富岡浩一 (印刷中): かしの木山自然公園の管理・運営 - 市民による公園運営のノウハウ、ランドスケープ研究(日本造園学会誌).
- 3) かしの木山自然公園愛護会 (1998~1999): かしの木山自然公園資料.
- 4) 栗田和弥・植竹薫 (1998): 市民 NPO による緑地の利用・管理の参加者誘致圏について - 東京都町田市かしの木山自然公園を事例に一、レジャー・レクリエーション研究、39、106-107.
- 5) 栗田和弥・植竹薫 (1999): 関東地方における市民による環境 NPO の自然環境保全活動に関する研究、ランドスケープ研究(日本造園学会誌)、62(4)、400-404.
- 6) 町田市の 6 地域とは前掲<sup>4)</sup>による、南、鶴川、町田、堺地域 (いずれも旧村)、および山崎地域である。

表-3 かしの木山自然公園における活動への参加回数(レポート)と参加者住所との関係(実数)  
(1998(平成10)年度の活動)

参加者住所		参加回数に対する人数(人)											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
町田市内	南地域	203	29	16	14	6	9	5	2	4	2	-	1
	町田地域	40	4	1	1	1	1	2	-	-	-	-	-
	鶴川地域	40	4	2	-	2	1	-	1	-	-	-	-
	山崎地域	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	忠生地域	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	堺地域	7	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
町田市内合計		299	39	19	15	9	11	7	3	4	2	0	1
町田市外	相模原市	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	座間市	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大和市	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	横浜市	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	狛江市	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	厚木市	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	世田谷区	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
町田市外合計		15	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
不明		3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
合計		317	39	20	17	9	11	7	3	4	2	1	1
←活動参加のレポート低い						活動参加のレポート高い→							

表-4 かしの木山自然公園における活動への参加回数(レポート)と参加者住所との関係(比率)  
(1998(平成10)年度の活動)

参加者住所		参加回数に対する人数(%)											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
町田市内	南地域	47.1	6.7	3.7	3.2	1.4	2.1	1.2	0.5	0.9	0.5	-	0.2
	町田地域	9.3	0.9	0.2	0.2	0.2	0.2	0.5	-	-	-	-	-
	鶴川地域	9.3	0.9	0.5	-	0.5	0.2	-	0.2	-	-	-	-
	山崎地域	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	忠生地域	1.6	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	堺地域	1.6	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
町田市内合計		69.4	9.0	4.4	3.5	2.1	2.6	1.6	0.7	0.9	0.5	0.0	0.2
町田市外	相模原市	0.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	座間市	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大和市	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	横浜市	1.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	狛江市	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	厚木市	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	世田谷区	-	-	0.2	-	-	-	-	-	-	-	0.2	-
町田市外合計		3.5	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
不明		0.7	-	-	0.5	-	-	-	-	-	-	-	-
合計		73.5	9.0	4.6	3.9	2.1	2.6	1.6	0.7	0.9	0.5	0.2	0.2
←活動参加のレポート低い						活動参加のレポート高い→							

備考 実参加人数合計(431人)に対して占める割合  
小数点第2桁を四捨五入しているため合計は100%にならない